

2024年(令和6年)11月20日号【第362号】

BATPOST

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

11

2024
November



(一社)広島県中小企業家同友会
創立51周年記念行事 経営フォーラム2024

人を生かす経営の総合実戦で企業づくり・未来づくり
～学びの実践で新たな時代のよりよい企業、よりよい地域へ～

Contents

支部例会P02
地区会だよりP03
部会だよりP08
委員会だよりP09
支部理事会報告P12

県スローガン

Human First! ～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

(一社)広島県中小企業家同友会 創立51周年記念行事 経営フォーラム2024

人を生かす経営の総合実戦で企業づくり・未来づくり ～学びの実践で新たな時代のよりよい企業、よりよい地域へ～

■日時:10月11日(金)

■会場:リーガロイヤルホテル広島

■基調講演報告者:エイベックス(株) 代表取締役会長 加藤 明彦氏(愛知同友会)

分科会報告者:(株)アール・ツーエス 代表取締役 森 慎吾氏(福岡同友会) 他



基調講演 加藤氏



第3分科会 立石氏



第5分科会 岡田氏



第7分科会 近藤氏

去る10月11日、広島同友会の創立51周年記念行事に位置づけられた、経営フォーラム2024が開催されました。記念講演は466名、分科会は合計474名が参加しました。福山支部は第7分科会を担当し、(株)K鉄工業 近藤亮二氏(B地区)が報告しました。

また、政策委員会担当の第3分科会では、(株)タテシ広美社 立石克昭氏(S地区)、青年部担当の第5分科会では、平和建設(株) 岡田一真氏(A地区)が報告しました。

BATPOST11月号では、S地区の感想を紹介いたします。なお、基調講演・分科会の要旨は「同友ひろしま」12月号で特集します。

経営フォーラム2024に参加して

■日時:10月11日(金)

■会場:リーガロイヤルホテル広島

■報告者:エイベックス(株) 代表取締役会長

加藤 明彦氏(愛知同友会)

第2分科会報告者:(株)アール・ツーエス

代表取締役 森 慎吾氏(福岡同友会)

■参加者数:11名(S地区)

経営フォーラム

S地区会



経営フォーラム2024に参加しました。

基調講演は「人を生かす経営の実践」～自主・民主・連帯の精神を企業に活かそう～というタイトルでエイベックス(株)の加藤氏のご報告でした。

同友会の本質的な部分のお話で、沢山の学びがありその中で、「同友会ごっこ」をやっていないか。学んだつもりや、実践しているつもりでなかなか結果が出ない。同友会の目的「良い会社を作ろう」良い会社にするために学んでいるのに結果が出ないのはなぜか？加藤氏は同友会の学びを整理して語ることで自分も会社も変わったと言われました。学びをしっかりと整理理解し、それをきちんと周りに伝え理解してもらえれば行動が変わりおのずと結果は出てくる。まずは経営者自身が姿勢を改めることからだと感じました。

第2分科会では、同友会で学んだ「人を生かす経営」で日本一を目指す「成り行き経営」からビジョン経営にというタイトルで(株)アール・ツーエスの森氏のご報告でした。

ビジョン経営とは何か？現在の延長で考えた3年、5年、10年後のビジョンではなく、大風呂敷を広げたビジョンを社員と共に描くことでワクワクした気持ちになり、やる気が出てくる。そしてそこに到達するためには経営者一人の考えや行動だけでは到達できないので、社員と共に考え行動してもらうことが必要で、その関係こそが信頼できるパートナーなのだと言っていました。

人を生かす経営を実践し、社員と共に、より良い企業、より良い未来を必ず実現したいと心に誓いました。



(有)高山工業
高山稔基(S)

「思いの共有」 ～説明から対話へ～

■日時:10月18日(金) ■報告者:早間金属(有) 早間 一隆氏
■会場:市民参画センター ■参加者数:18名



10月A地区例会では、早間金属(有) 早間一隆氏に「思いの共有」説明から対話へ」と題して報告していただきました。

早間氏は、早間金属(有)のお嬢さんとの結婚を機に、銀行を退職し、将来の後継者として早間金属(有)へ入社されました。今回は、同友会入会後の人との出会いによる価値観の変化や、気づき等をお話ししていただきました。

2017年の同友会入会時には、自分の考え方や価値観が全て正しいと思い込み、自分とは違う経営陣や社員さんの価値観をなかなか受け入れることが出来なかったそうです。



(株)明乳松浦
松浦伸明(A)

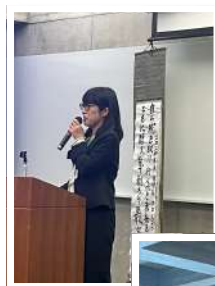
また早間氏は、様々な活動や経験を通して自分自身の課題と向き合い、一方通行の説明ではなく対話による「思い」の共有の大切さに気づき、まずは目の前にあることを一生懸命していくとの決意を語られていました。

グループ討論では、価値観について話し合いましたが、会社の価値観や理念、目標がないという方もおられました。会社が成長していくためには、社内の全員が同じ方向を向いて努力することが必要だと思います。

そのためにも、同友会の例会や経営労働委員会、懇親会で勉強し、人との関わりの中から自分の会社の価値観や理念、ルール等を作り、それを自分だけでなく、対話を通じて社内の皆と共有していくことが大切だと感じる例会でした。

『従業員との関わり合い』

■日時:10月15日(火) ■報告者:アイゼン商事(有) 土橋 翔氏
■会場:ローズコム・Zoom ■参加者数:48名



(株)明和
藤井利彦(B)

10月15日(火)アイゼンZoom中会議室とZoomにてB地区例会が行われました。発表者は「アイゼン商事(有)の土橋翔氏に自身の体験を発表してもらいました。タイトルは『従業員との関わり合い』についてでした。

自身でも、カドリー(株)という別事業を立ち上げており、アイゼン商事を継承するにあたりタイトルにもある、従業員との関わり合いについて、自身が感じていることや従業員が思っていることなどを踏まえての発表でした。

従業員満足度(ES)の向上のために取り組んでいる事として1つ目は、労働時間での取り組みがあるそうです。廃棄物の定期回収の業務では、早朝4時から勤務している従業員さんなどいるため、労働時間を8時間と決めてしまおうと、ワークライフバランスなどにも影響が出るため、時間にとらわれずフレキシブルに対応し、合わせて、業界イメージである『きつい・汚い・危険』から『キレイ・気持ちいい・かっこいい』へと変える取り組みも行っているとの事でした。

2つ目は、福利厚生制度の充実です。交通費や食費の補助・退職金制度の整備も充実させているようです。また、保険型退職金制度を活用し、従業員の方が1の保障や退職金の計画的な準備をすることで、本人だけでなく、ご家族からも安心して頂け、定着率のアップにつながっているそうです。

3つ目は、従業員同士のコミュニケーションや経営陣とのコミュニケーションに関する取り組みです。

す。〇〇会と担当の方の名前をつけたりして食事会などを行う事で、個人の主体性や自主性を高めることができています。

4つ目は、勉強会の開催です。リテラシーの向上や自己防衛について、今後備えて金融に関する知識などの向上も従業員さんにも図ってほしいと勉強会を開催し、一緒に学ぶことで共に成長できる環境も構築してもらえるようです。

このような取り組みを行う事で、会社へは生産性の向上や顧客満足度の向上・人材の定着など様々なメリットが生まれ好循環を生み出しているとのこと。退職理由の上位を占める人間関係や労働環境を従業員とともに改善することでリファラル採用(従業員や社外の信頼できる人からの紹介)を得ることが出来、採用コストも下げることが実現。

このような取り組みをし、今後はパツカー車の装飾などを行い企業ブランディング・業界イメージの向上も推進していきたいとのことでした。

今回の発表を通じて、自社の取り組みを今一度見直すいい機会となりました。聞いて終わりではなく、しっかり持ち帰り行動していきたいと思えます。

地区会だより

B地区会

あなたの売上高を自己分析 ～ブンカイしたらみてきた～

■日時：10月16日（水）
■会場：ローズコム

■講師：池永経営(株) 田中 秀穂氏(K)
■参加者数：23名



D地区10月例会では講師として池永経営(株)の田中秀穂氏をお招きし、テーマを自社の売り上げ目標の立て方を学ぶとし、勉強会を実施しました。売上高をブンカイする意義は？経営指針書の中期経営計画「中期の目標」の根拠を説明できますか？という問いかけから始まり、他同友会会員の実際の成功例とし、ある飲食店が強みを活かしての「記念日利用の促進」を実施し、売上を伸ばしたというお話を伺いました。

その後、売上高を分解して4つの方法「事業タイプ」「価格タイプ」「ABC分析」「売上の瞬間」に分けてグループワークを実施しました。まず業界によって売上が設備や人数、アイデア、何の影響を受けるのかを市場により価格が決まっている業界は理解し、その上で、自社のお客様・商品をランク分けし、対応・提案を整理しどこに注力していくのか。売上げの瞬間のパートでは、接客・契約・納品・入金の内、どこが自社の強みなのか。違う業種業界が集まる同友会ならではの討論が各グループ繰り広げられました。



(有)キャピタル 下田善久(D)

最後に田中さん、Bグループの皆様、ご多忙の中、素敵な勉強会をして頂き誠に有難う御座いました。

う業種業界が集まる同友会ならではの討論が各グループ繰り広げられました。討論の中では自社の強みが分かりにくい場合はお客様や他社に聞いてみるのが一番だという声もありました。実際にお弁当屋を経営される企業ではお客様へのアンケートを実施しており、おかげさまで煮物が特に美味しいという声が多く、新メニューにも反映しているというお話も伺えました。途中、田中さん自らグループに参加し、討論をより盛上げて頂きました。

生成AIを学び経営者・会社として革命を起こそう！

■日時：10月8日（火） ■講師：インディゴグループ（同） 渡邊 大介氏
■会場：ローズコム ■参加者数：26名



E地区の10月例会は、インディゴグループ（同）の代表渡邊大介氏による講師例会でした。テーマは生成AIについての説明と、各業界での事例説明についてです。

生成AIはとても便利でもありますが、使用者によって活用の幅も違ってきます。欲しい情報や答えが聞きたい場合は、それらを上手に引き出すプロンプトが重要になります。我々が活用したらええなかつたですが渡邊氏が質問をする二発で求めた回答がありました。質問の仕方でもこんなにも活用に差がでるのかと驚かされました。

今回の講師である渡邊氏は、ITを活用した事業を幅広く展開しており、投資運用事業や経営に関わるコンサルティングなども行い、生成AIに関するセミナーも数多くやられている専門家です。普段から一緒に仕事をしている方々は、ぜひ渡邊氏の話が聞きたいと多くの方がオブザーバーとして参加いただきました。

まず参加者でChatGPTのアプリを実際にダウンロードすることから始まり、基本的な使い方から始めるのか、初心者にも分かりやすく教えていただきました。実際に会話ができるAIシステムもあり、皆が驚き興味を示していました。

今後ビジネスでも生成AIを活用するケースが増えてくる一方で、我々も勉強し成長していかなければなりません。質疑応答では、自社でこうした使いどころ活用できるかといった様々な質問が出ました。その後の懇親会でも皆が質問して大変盛り上がりしました。

貴重な講演を聞かせていただきありがとうございます。

神原商事(有) 神原秀之(E)

バトンは俺の手に ～2代目の挑戦と葛藤～

■日時：10月16日（水） ■報告者：ダイシーサービス(株) 石田 和礼氏
■会場：ローズコム ■参加者数：45名



F地区10月例会は、ローズコム大会議室で「バトンは俺の手に」2代目の挑戦と葛藤というテーマで、ダイシーサービスの石田和礼氏による体験発表が行われました。今回は女性部との合同例会で、多くの参加者が集まりました。石田氏は「経営者の道」に立ち、ブレ発表を重ねる中で、心境や行動に変化が表れていました。同社は現社長のお父様が65歳になるまでの10年限定で設立された会社で、石田氏は「父が作った会社を存続させたい」という強い思いを抱いています。従業員マインドから

経営者マインドへの変化が、多くの参加者にとって、自身が経営者としての道を歩み始めた頃を振り返る良い機会となりました。
「あなたが石田氏ならどうしますか？」をテーマに討論が行われ、厳しい意見も飛び交いましたが、彼の成長が大きな成果と感じられる例会でした。



(有)福山サービスセンターイトウ 伊藤 匡(F)

大討論例会！ 参加したくなるG地区を語ろう！ ～社員さんが長く働きたくなる会社とは～

■日時：10月16日（水） ■報告者：参加者全員
■会場：市民参画センター ■参加者数：22名



G地区10月例会は、「大討論例会！参加したくなるG地区を語ろう」と題して、G地区メンバーで参加したくなるG地区とは、どんな会なのかを60分間討論しました。
今回の大討論会の目的は、人によって考え方は異なりますが、人が集まる以上は考え方が異なるのは当然。どの考え方も大切である中で、一緒にG地区を創っていく会員同士がお互いの考え、想いを語り合う時間を創りたいということでした。
討論の中で、まず初めに、同友会入会当時、何を期待して入会したのか、意見を出し合っている後、今現在、G地区に期待していることは何なのか？どんなG地区が理想のG地区なのか？を議題にあげました。

今回の討論で出た内容を役員メンバーで再度共有し、少しでも意見が反映できる運営ができればと思います。また、意見を出した側も主体的になつて、良いG地区を創っていくことが大事。同友会も会社も同じ、社長が1人でよい会社を創るわけではない、社員さんと共に良い会社を創っていく、会員さんと共に良いG地区が創れていたら良いと思います。

(有)阿吹運送店 阿吹成駿(G)



エネルギーシフトの基礎知識

■日時:10月21日(月)

■報告者:(株)タカハシ 高橋 克直氏

■会場:タカハシセミナールーム

■参加者数:8名



(株)明電
大塚 真(1)

I地区会

地区会だより

「I地区10月例会は「エネルギーシフトの基礎知識」と題し、(株)タカハシの高橋克直さんに昨今のキーワードとなりつつある「エネルギーシフト」について発表いただきました。「エネルギーシフト」「SDG's」など耳にすることが増えたものの、その詳細については「なんとなく分かったつもりになっている内容について、まずは大枠をとらえよう」という意図を感じる発表になっていました。

例えば、CO2が増えすぎると温室効果により地球が温暖化してしまう、というイメージは誰もが持っていると思いますが、温室効果に影響を与える物質はCO2だけではなく、メタンやフロンの方がよほど影響は強い、ということや、「熱中症患者が増えている」「このままではシロクマが絶滅してしまう」というなんとなかの印象も実際のデータを確認してみると、熱中症により死亡する人数は特別増加しているわけではないし、暑さよりも寒さで死亡する人が多いという事実、シロクマは絶滅どころか増加傾向にある、などマスコミにて報道されることに対して、「本当の所どうなの?」と疑問を呈しながら、二コトラルな内容になっており、すごく学べる内容が多くありました。

ただ、高橋さんが本当に言いたかったことは、マスコミは信用ならないという事ではなく、事実はどうあれ、日本や日本を取り巻く環境が「エネルギーシフト」を強力に推進する方向に進んでいることは間違いないという現実でした。実際上場の大企業から、自社に関わりのあるサプライチェーン全体でエネルギーシフトを実現しようとしている雰囲気、弊社のような町工場においてもその気配を感じる、ことがあります。

「エネルギーシフト」とはなんなのか、それが推進されることで、自社を取り巻く環境にどんな変化が起こるのか、についてアンテナを張る必要があると強く感じる、大塚にとって神回の発表でした。

わかっているつもりになってない? ～財務の視点を意識した決算書のとらえ方～

■日時:10月21日(月)

■講師:(株)稲田財務 稲田 裕氏

■会場:市民参画センター

■参加者数:19名



サークルベース
住吉 謙一朗(J)

J地区会

地区会だより

「J地区の10月例会は『わかっているつもりになってない?』財務の視点を意識した決算書のとらえ方」というテーマで、前年度入会した株式会社稲田財務の稲田 裕氏(なだひろし)氏に報告していただきました。

参加者は会社経営する立場なのでもちろん決算書を見る機会があります。ただその決算書のどこの数字を良くすれば見る人によつては評価が変わることであつたり、どこの数字を良くすることを考えた場合、会社が成長していくかという話は話でした。この度の例会は報告後にグループ討論という流れではなく、報告の中でシンキングタイムを設けられ各グループで討論をする形でした。

その中で自社はこうする、ああするといった活発な意見が飛び交うことで皆さん盛り上がりつつありました。当たり前に出ている人もいればそうでない人もいます。報告を聞いているだけで自分の考え方でやってくるからと特に学ぶこともなかったかもしれないですが、間にグループ討論を設けることにより人の意見にも興味を持ちやすいですし、討論の後は各グループで発表もあることで、より自社はという意見がすぐに拾え、学びやすい例会だったと感じます。

決算書を見るからこそ数字目標も大切になってくるのですが、業種にもよりますが、売り上げベースで数字目標を立てるのではなく、今期はこれぐらい利益が欲しいというところ(いくら利益を残したい)というところから逆算して目標は立てていくことが大事だと感じました。

まだまだ経営者として駆け出しの身としては、とりあえず売上に対して粗利が残って固定費がこれぐらいかかるからこのぐらい数字が残るという考でしかなかったもので、決算書の見せ方であったり自社の伸ばし方に対しても考え方のヒントになるものなのだと気づきました。

ブレないための目標設定と実行方法(リーダー育成研究vol.3) 備後企業と学生みんなで盛り上がる！ 「びんごフェスティバル(びんフェス)」

■日時:10月12日(土) ■報告者:(株)福山楽器センター 新庄 一貴氏
■会場:神石高原 ティアガルテン およびK地区会員
バンズグリル 小川 尚範氏(I)
■参加者数:417名(自地区19名、他地区45名、
その他350名、入会候補者3名)



午前8時。神石高原の澄み渡った空のもと、新鮮な空気を吸いながら同友会3つの目的の唱和から始まった「びんフェス」。K地区10月例会は、ブレないための目標設定と実行方法(リーダー育成研究vol.3)を実践するため神石高原へ集合しました。まずは、10月例会開催にあたり、豊田支部長をはじめとされ、福山支部の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただきましたこと深く感謝を申し上げます。当日は、学生、同友会会員、企業内スタッフ、ご家族等多くの方々にご参加いただき盛大に開催されました。

10月例会では、各学校、出店者様との調整、事前準備、会場設営、受付、緊急対応等会員一人ひとりが自分事として捉え、リーダーとしての役割を全うしました。一人では成しえることのできない目標を設定することで、様々なタイプのリーダー像を知り、リーダーを支援するスタッフの行動も同時に研究することができました。組織の規模にもよりますが、自分でやった方が早いということ、全て一人で実行してしまうことがありますが、スピード感はありません。ですが、そこに所属する社員やスタッフの成長を妨げることになりません。そして、コミュニケーション不足が生じ、本人しか知らない状況になります。

これは、業務を運営する中でとても怖いことです。音楽という手法で、学生×企業×同友会×地域を繋ぐことになり、K地区内では共に学び、そして悩み、共に考える時間を共有できたことで、会員相互に成長できるよりK地区に所属している帰属意識の醸成ができました。対外的には経営者と学生が出会う場を創造することができましたが、実際に話をしたり、自社のことを学生にPRする時間を作ることができませんでした。また、外部へPRする時間が不足していたこともあり、出店企業様の売上貢献も十分だったと反省しております。沢山反省すべき点が多々ありますが、本例会を開催したことで、広島県中小企業家同友会福山支部の存在を、外部の方へ周知できたことはプラスだと感じています。

最後になりますが、例会開催にあたりご協賛いただきました企業の皆様、来場ですす現地へ心を寄せて下さいました全ての皆様に感謝を申し上げます、10月例会の報告とします。

ありがとうございました!!



さかもと保暎(株)坂本貴之(K)

変えるのは行動！ 変わらないのは志！

■日時:10月17日(木) ■報告者:(株)AirCollect 末広雄一郎氏
■会場:ローズコム ■参加者数:26名

K地区会

P地区の10月例会は、『変えるのは行動！変わらないのは志！』と題し、(株)AirCollectの末広雄一郎氏をお招きし開催されました。

末広氏は空調設備を中心とした電気工事事業全般を扱う建設業を経営しておられます。開業前に勤めていた会社でいわゆる3K(きつい、汚い、危険)を払拭するにはと独立開業されました。

末広氏の人柄で開業当初から売上は計上されるものの、なかなか利益が上がらない、社員は定着しない、社員同士の衝突が絶えない、課題は山積みで悩んでいる時に、相談された方の勧めで同友会に入会しました。

しかし、入会したからといって急激に会社が良くなる事はなかったそうです。ですが、同友会で学んだことを一つ一つ実際に行動に移し、色々なことに挑戦し続けることで、売り上げ、利益、社員数は徐々に伸びていき、今では社員の家族も一緒に海外へ社員旅行をできる状況にまで成長したといえます。



(株)アフィット不動産 佐藤貴道(P)

そこには、行動をする、変えるだけでなく、変わらぬ「志」があったからだとの事です。

末広氏は「世界中の人に愛される会社になる」という企業理念を変えらぬ志として経営しているとの事です。

末広氏の話聞き、「あなた志とは？」というテーマでテーブル討論を行いました。それぞれの企業、個人の志を考え、共有し、多くの質問などにより活発な討論となりました。

参加者の色々な意見を聞き、共通事項は、社員の為、家族の為、未来の為にタイトル通り、志を強く持ち、挑戦を続け、成功のために行動を変える事の大切さを感じた例会となりました。

ごちゃごちゃ言うな。やりゃーえーんよ。

青年部だより

■日時:10月7日(月)
■会場:ローズコム

■報告者:サークルベース 住吉 謙一朗氏
■参加者数: 名



しかし、当事者の住吉氏は最小限しかできていない状態

5班独自の活動として、担当例会は同一人物が2回発表し、発表者が青年部での学びや関わりを通じて1年間でどれだけ成長するのか、気持ちや行動、数字の変化も報告します。

2024年度10月例会は、5班一発目の例会で住吉氏に発表してもらいました。たくさんの方達に出席していただき、ありがとうございました。

でした。

またもや厳しい意見が出てしまいます。私も同じ個人事業主として忙しいのは十分わかりますが、今やることやらないと話しても前に進みません。

とはいえ、今回の発表で現状とやらないといけないことを把握したと思いますので、ごちゃごちゃ言わずに行動してくれと思います。

今回の発表を通して参加者には、今の自分はどうか？人に言えるほどの行動はしているのか？足りてない所はあるんじゃないか？というテーマで討論してもらいました。やはり全て完璧な人はいません。今の自分を把握し現状を理解し、やるべきことを見つけたら討論だったと思います。



野上鍼灸整骨院
尾瀬佳史(B)



バトンは俺の手に ~2代目の挑戦と葛藤~

女性部だより



■日時:10月16日(水)
■会場:ローズコム

■報告者:ダイシーサービス(株) 石田 和礼氏
■参加者数:45名



最も大切なのは、1年先、3年先のビジョンをしっかりと描き、苦悩があっても前向きに

11月の女性部例会では、F地区との合同例会が開催され、バトンは俺の手に~2代目の挑戦と葛藤~というテーマで石田氏が発表しました。

石田氏は事業継承にあたり、自身の経営への心構えや、先代の思いとの葛藤について語りました。事業継承は簡単ではなく、期待やプレッシャーを感じの中で、自分の立ち位置を見つめる重要性が強調されました。この経験は、同様の立場にいる人々にとって非常に貴重な学びとなります。今回の体験発表を通じて、石田氏は少しずつ会社の方向性や自身のやるべきことに向き合うきっかけを得ました。

進むことです。経営においては、先代と同じやり方を踏襲することはできません。根幹の軸をぶらさず、枝葉の部分で自分のカラーややりたいことを表現することが重要です。今日の例会を通じて、参加者それぞれが異なる立場から多くの気づきを得たことと思います。改めて自社の目標を振り返り、愛社精神を再確認する機会となり、新たな歩を踏み出すための素晴らしい例会となりました。皆さんがそれぞれのビジョンを持ち、前進していく姿勢が、これからの成長に繋がることでしょう。



ホリスティックブレイン学院(株)
藤原留衣(B)

入会しました

10月4日（金）にローズコムで、新会員オリエンテーションを開催しました。先輩会員の体験報告は、ペアコム（株） 代表取締役 梨木 彩加氏（P地区）が務め、同友会での学びや会社の変化を報告しました。BATPOST11月号では当日参加した新会員の内、原稿を寄稿いただいた6名の方をご紹介します。



芦田川ドライビングスクール

総務部係長 高橋 徹（B地区）

同友会へは、事業承継を行う上で様々な方の体験談等を伺える場、勉強できる場としてご紹介いただき、入会しました。業種は自動車教習業です。運転免許取得をお考えの場合は、当校をご検討いただければ幸いです。



(株)EVER BLUE

代表取締役 村上 達則（B地区）

初めまして。普段は理学療法士として訪問リハをしながら、マウルソラ訪問看護リハビリステーションを運営しています。今まで自身で経営をした事がなく、先輩達から色々手法や考えを学べたらと思い入会しました。これからもご指導ご鞭撻の方宜しくお願いいたします。

一般社団法人 ハッピーポケット

代表理事 濱原一将（B地区）

この度入会させて頂いた濱原と申します。東尾道でゴルフ工房をさせて頂いています。今までは障がい福祉分野の会社を運営していましたが、新たな挑戦の為、学びの為に同友会に入会させて頂きました。今後ともよろしく願います。



(有)ウィンテック

取締役部長 佐藤 隆（F地区）

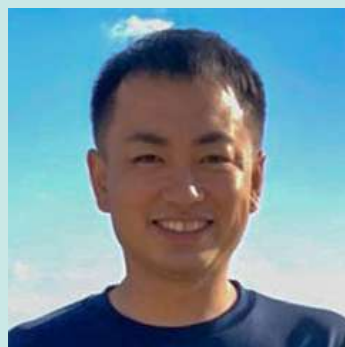
義父と共に建築系の会社を経営しております。小さい企業ながら時代の流れに遅れぬよう、皆さまと共に成長したく入会させて頂きました。よろしくお願いします。



鍛冶屋農園

代表 赤木 昭弘（J地区）

神石高原町豊松でまる豊トマトを生産・出荷しております、鍛冶屋農園の赤木です。トマトの栽培だけでなく農園の経営について学びたいと思い、入会させていただきました。農業とは全く違う業界の経営者の方々と出会うい、お話をうかがう中で、なにか一つでも、農園の経営にいかし、従業員の方、地域の方に貢献していきたいです。よろしくお願いします。



民間救急スリーナイン

代表 大原 知（K地区）

今年の3月まで消防に勤めていました。退職後、K地区の建内さんから同友会を紹介され、入会を決めました。経営のことは全くの素人ですが、先輩経営者の話を聞き、共に学び成長したいと考えています。

経営労働 委員会

キホンの“キ”シリーズ「経営基礎講座」2クール第1講 「経営理念part1 経営理念とは」

■日時:10月31日(木)

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■講師:旭調温工業(株) 栗屋充博氏(代表理事・広島中支部)

(株)エコリユーション 塩梅泰弘氏(前広島中支部長)

■参加者数:53名



さて今回も始まりました。「経営基礎講座」は第2クール第1講「経営理念part1 経営理念とは」28日までの全10講で経営指針作成が出来てしまおうという講座です。同友会三つの目的を唱和後、高山委員長の開会挨拶から講座が始まり、栗屋代表理事から「経営理念の会社における役割」の解説、広島中支部塩梅氏からは「経営理念とは・経営理念の役割」の解説をお聞きしまして、私は改めて経営理念の必要性を深く考えさせられました。

10数年前に経営理念だけは作成をしていましたが、某大手企業のHPから聞かされた良いフレーズを集めて完成をさせていたもので、「自身の生きる姿勢や価値観が確立していない」経営理念に満足していた頃を思い出して、現在掲げている経営理念を今一度見つめ直すいい機会になりました。

講座中盤でグループワークとなり、受講生の皆さままで経営理念対策シートに向き合い、各自脳に汗をかくほど真剣な眼差しで考えられておられました。今回の経営基礎講座の冊子ですが、Excelファイル「経営指針作成と実践の手引きsheet」に解説が入った冊子になっておりますので、初めてでも非常にわかりや

すくなっております。お買い求めは福山事務局にて1冊2,200円で販売しております！

対策シートは7項目あり、多数の受講生の方が「3. 自社の固有の役割は何か」「7. 地域社会や環境に対する基本姿勢」の項目で悩まれておりましたが、サポーターの方々から膝を交えて丁寧にアドバイスをされていきました。

経営理念を作成したからと言っても売上・利益が上がる訳ではないですが、徹底的に悩み、誰にも言わない自分自身の本心に率直に迫り、迷いながらも考え抜いて「これぞ経営者として生きる道だ」と思える価値観・考え方になった経営理念が全社員に浸透していけば、自ずと会社の功績が良くなっていくと思っています。

会員のみなさんでまだ経営指針を作成できていない方、成文化をしてるけど机にしまったままの方、ぜひ参加をされて一緒に会社をよくしていきましょう！

次回開催は、11月22日(金)です。(事務局でのリアル受講がおすす



(有)山幸運輸
渡邊龍馬(J)

9

バリアフリー 委員会

「就労継続支援A型・B型の違いは？」 「就労移行支援って？」

■日時:10月9日(水)

■会場:事務局・Zoom

■報告者:結絆福祉会(同) 小林 篤司氏 (株)三倉屋 鹿嶋 保彰氏

■参加者数:30名



作業所の仕事内容、A型事業所、B型事業所について福山支部会員の結絆福祉会(同)小林さん、(株)三倉屋 鹿嶋さんのお二人から発表していただきました。

「福祉」って説明が難しい。作業所は障害者の方と一緒に仕事を通じてハードルをさげてあげる、ハードルをなくしてあげる、ハードルを乗り越える力をつけてあげるのが役割だと説明がありました。視力が弱い方は、細かい作業や運転ができないから「障害者」である。だけど眼鏡があると細かい作業も運転もできる。眼科や眼鏡屋さん達の協力でハードルを飛び越える事ができる。障害は本人の問題ではなく、周りの問題である。と例え話を交えてわかりやすく説明を

してくれました。

グループ討論では「経営環境をよくするために今何ができるか」について話し合い、賃金アップや仕事の切り出し方についての意見が多く出ました。上堂園委員長から、「福山市内の特別支援学校の生徒は10年で2倍になっている」と案内がありました。我々が雇用するの大切ですが、バリアフリー委員会を通じて個性を一



建内レンタル(株)
建内博行(K)

環境経営 委員会

中同協環境経営委員会 「ビジネスと人権」オンラインセミナー

■日時:10月1日(火)
■会場:Zoom

■講師:経済産業省通商政策局ビジネス・人権政策調整室室長補佐 木内 遼氏
中同協 政策局長 斉藤 一隆氏
■参加者数:約70名



①自社の人権に関する現状

代表的な例として、新疆ウイグル地区の強制労働における人権侵害があります。グローバル企業とともに日本企業14社も公表され、輸入禁止や不買運動につながりました。中小企業においても決して対岸の火事ではなく、人権問題はサプライチェーン全体で取り組む必要があります。

環境経営委員会10月度勉強会は、中同協環境経営委員会「ビジネスと人権」オンラインセミナーに参加いたしました。ビジネスにおける人権リスクが高まっている昨今、企業も人権問題に取り組むことが求められています。人権侵害とは、強制労働、児童労働、低賃金長時間労働、各種差別・ハラスメントなどが該当します。2011年の国連での採択を機に日本では、2022年にガイドラインが策定されました。



M Support(株)
前田明子 (G)

企業における人権尊重の取り組みは論ずるまでもなく、企業活動における人権への負の影響の防止・軽減・救済が目的です。リスクヘッジのためだけでなく、経営者が人権意識を常にとることが求められています。まずは、自社における人権侵害の課題に目を向け、経営指針に盛り込むことから始めてはいかがでしょうか。

について確認する。②現状や経営理念などを踏まえ人権方針を作成し公表する。経営指針に盛り込む③「ビジネスと人権」に関する課題について優先順位を決め、改善方法を検討実施する。④これらをPDCAサイクルとして回す⑤相談窓口などの仕組みに確立といふものです。非常に具体的に現実的な現状確認チェックリストや課題検討シートの素案が既にできていたのも驚きでした。これらのツールが同友会で当たり前に使われる日もそう遠くないはずです。

地域内 連携

すまオレフェスタ2024見学会

■日時:10月12日(土)
■会場:ビックローズ

■参加者数:6名



今年度の地域内連携推進委員会のテーマは、企業間連携です。そこで私も所属している住まいに関する仕事をしている企業のチーム、チームすまオレが行った、すまオレフェスタ2024の見学会を行いました。

委員会の参加者の方には見学をしていただいて、自社の新たな取り組みに繋げて頂ければと思います。お一人仕事の連携が成立したというお声も頂きました。



(株)キャッスルコーポレーション
馬屋原 聖史 (B)

第6回 福山支部理事会 報告

2024 年 10 月 30 日（出席者 28/32）

■ 討議事項「会員企業が発展する福山支部を創るために」
問題提起

- ・支部理事は支部重点方針の達成をめざす先頭に立っています。重点方針に共通するのは、同友会の良さを分かって伝えることです。本日の理事会資料の中に、前回の全地区合同役員会の源田専務理事の報告資料の一部を付けています。そこに地区例会や支部例会、委員会、県行事、全国行事のそれぞれの目的が書いてあります。
- ・私たち支部理事は同友会のショーケースとして、自分と自社が良くなるだけでなく、福山支部の会員企業が良くなる環境を作っていく役割があります。私もかつては役員上、行事に参加したことがありますが、そこで学びを得て目標とする経営者にも出会いました。周りにその学びや経験を勧めるには、自分が経験をしてみないとわかりません。本日はどんな働きかけをすれば、福山支部全体の会社が良くなるか、討論をお願いします。

※グループ討論・発表を行いました。内容は省略いたします。
まとめ

- ・伝える、コミュニケーションがキーワードでした。伝えると伝わるの違い、伝え方の手段、伝わり方など、「伝えること」の難しさを実感しています。支部理事は最高に学んでいる立場です。経験したことを得意な方法で、もっともっと周囲に伝えていただきたいと思います。
- ・今期の福山支部では参加目標の数値は掲げていますが、ノルマ等は出していません。ただ、参加の分母が増えると、それだけ学ぶ人が増えます。結果として参加する人、学ぶ人が増えればと思います。ご討論、ありがとうございました。

■報告・連絡

●専門・委員会

①総務委員会

- ・来月11/25（月）に全地区合同役員会を予定していましたが、役員研修大学の第3講と日程が重複しました。総務委員会で検討し、全地区合同役員会を11/29（金）に日程変更しました。会場はローズコムです。どちらも参加対象が重なっていることを考慮した結果です。すでに地区会で告知をさせているかと思いますが、ご理解いただければと思います。

②組織委員会

- ・地区会長と部会長をお願いします。組織委員会で増強の目的を確認しています。委員会だけではなく、地区会でも目的を読み上げていただきたいと思います。目的は事務局から配信します。ご協力よろしくお願いします。

③企画委員会

- ・1月の新春講演会は1/8（水）が正式日程です。昨年度に続き、丸山先生に講師をお願いしています。よろしくお願いします。

④経営労働委員会

- ・11月12月は企業変革支援PGの登録月間です。県全体で18%の目標に対し、現在、3.8%の登録です。ぜひ各地区でお知らせをお願いします。

⑤環境経営委員会

- ・12月はSDGsのカードゲームを行います。

●地区会・部会

①青年部会

- ・来期の部会長の選考会議を行いました。立候補7名から1名を3時間かけて決めました。今回、選考に漏れた会員にも結果を伝えると、いろいろな反応が返ってきました。部会長として全員に納得してもらえ伝える方ができたかどうか、と思っています。

●県関係の報告

①県理事会報告

- ・今回は広島同友会の現状と課題の討議事項でした。川口事務局長

から報告があり、討論を行いました。今期は東広島事務所の開設や人手不足などの実態報告がありました。支部によっては地区や小组の対応をしたり、委員会の運営も全部お願いしているところもあるようです。討論の中で、会員は事務局とパートナーシップを図っていかないといけない、と言った意見も出ました。

- ・その他、詳細は県理事会報告をご確認ください。

②役員研修大学STEP1の申込状況

- ・次回は11/25（月）です。本日の資料に今後の予定を掲載しています。県理事の実践報告を中心に開催します。スポット参加も可能です。

■その他の報告

①ビジョン委員会の報告

10/16（水）に開催しました。支部議案書に5年前に作成したビジョンを掲載しています。数字は現状と少し差がつきすぎているのではないかと、との指摘は理事会でもありました。

- ・県の中期ビジョンを参考に、次期の支部のビジョンも3部構成にする、入会率・退会率を設定する、政策提言ができる福山支部にしたい、などの意見が出ています。引き続き、わかりやすいビジョンの作成をめざしていきます。

②支部活動費の執行状況

- ・9月末でちょうど半期を迎え、執行のめやすは50%です。実際の執行率は、47.0%です。
- ・求人社員教育委員会はフォロー研修の参加費納入があったため、前月から大きく数字が変わり、34.3%の執行率です。
- ・それぞれの行事に応じた執行が行われています。特に問題はありません。

③支部理事増強の進捗状況

- ・理事の達成状況は、事務局に掲示している名簿をご確認ください。
- ・会員数680名の目標は、福山・府中の事業所数の1割、組織率10%をめざした途中の数字です。私は会員増強は、KPI（Key Performance Indicator/重要評価指標）だと考えています。一つひとつの目標がゴールではなく、大きな目標を達成するための途中の数字であり、会社がよくなるための数値だととらえれば、会員数680名もそう重くなく感じられるのではないのでしょうか。
- ・周りに困っている経営者がおられないか、今一度ご確認いただき、声をかけていただきたいと思います。

④福山平成大学経営学部 経営講演会のお知らせ

- ・福山平成大学の堀越先生からのご依頼です。同大学のびんご経営リサーチセンター主催で12/7（土）の14時から行われます。会場は福山大学社会連携推進センターです。
- ・第2部の小川教授は同友会がめざしている企業、経営と共通したお話をされる先生です。面白い内容だと思いますので、参加希望の方は直接お申し込みください。

【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者（1名）

(株)Techno Cross 代表取締役 中野 信勝（S）
事業概要：金属加工・研磨

■退会希望者（3名）

(株)キューワ 代表取締役 宮本 和志（F）

ラウンジ宮貴 代表 宮本 貴子（F）

伊豆義(株) 代表取締役 伊豆田 康博（S）

以上承認されました。

これにより、福山支部の会員数は660 名になりました。